

平成30年度一般財団法人古河市地域振興公社事業報告

事業概要

平成30年度の指定管理事業及び受託事業につきましては、新たに加わった「子ども・子育て支援財団」から引継いだ事業と既存の事業とを包括的に捉え、限られた経営資源の中でコストパフォーマンスに配慮した効率的な予算執行を心がけました。また、古河市に対する企画提案や計画的な修繕等を実施し、安全で安心な管理運営に努めてまいりました。

生垣設置費補助事業につきましては古河市の事業として廃止となり、市内公園管理事業につきましては古河市の直営事業となったことにより、平成30年度での事業執行はありませんでした。

一方、「子ども・子育て支援財団」との合併に係る事務局組織機構の改編と、各種システム等のインフラ整備に伴う事務整備も滞りなく遂行いたしました。

平成30年度の事業の主な成果は以下の通りです。

1. 全事業共通事項

- ① 各種法令、基本協定の履行につきましては、コンプライアンスに努めた結果、基本協定に基づく市のモニタリングに際して、特段の指摘はありませんでした。
- ② 個人情報の管理の徹底につきましては、ネットワークシステムの総合的な安全対策のため導入された、最新鋭のセキュリティシステムの運用方法を検証し、平成31年度での本格的稼働に向けてのインフラ及び事務的整理を実施いたしました。接客対応の向上につきましては、既存の専門講師による研修からコンピューターを利用した「イーラーニング」研修に切替え、同等のコストにて受講可能人数を増やし、組織の規模に合った研修効果を上げるべく対応いたしました。

2. 指定管理事業

(1) 総合公園管理運営事業

① 駐車場利用料（桃まつり）について

花桃につきましては、昨年と同じ3月12日の開花宣言から、ほぼ例年通り見頃、満開を迎え、桃まつり期間中は十分に鑑賞して頂くことが出来ました。気温が低い日も多くありましたが、天候に恵まれたことや、テレビ放映等によるPR効果もあり、前年度より571千円増の9,970千円となりました。

また障がい者減免制度につきましては、平成31年より市外の方も対象としたこともあり446台増の492台

の利用となりました。

②安全で安心な園内環境の維持管理について

(ア)お年寄りや車椅子の方でも安全に散策できるよう、園路の整備をしました。

(イ)高木の枝折れ等について、枝下ろしや伐採等を行いました。

(ウ)花桃に病害虫が発生したため、薬剤散布と巡回による観察を強化し、対策に努めました。

(エ)経年劣化や凍結等により生じたポンプや配管等の不具合について修繕を実施しました。

(オ)異音が発生していた展示室エアコンの修繕を実施しました。

(カ)トイレの床清掃を強化した為、悪臭による苦情等は激減しました。

③利用規則の周知と保安の強化について

(ア)警備会社と連携し、ホームレス対策を強化しました。

(イ)車輛による巡回のほか、徒歩によるこまめな巡回を行いました。

(ウ)不審者対策として、鴻巣交番との連携を深め、巡回強化を引き続き要請しました。

④桃まつり期間中の駐車場管理について

(ア)料金徴収業務はシルバー人材センター、警備業務は専門の警備会社に委託しました。期間中、大きなトラブル等もなく、スムーズな運営を行うことが出来ました。

(イ)渋滞緩和及び駐車場空きスペース等の確認を迅速に行うため、無線機を使用し、スムーズな車輛の誘導につなげました。

(ウ)駐車場内に仮設トイレを10台設置し、トイレの混雑緩和に努めました。

⑤イベント等への協力について

桃まつりやよかんべまつり等への協力は勿論のこと、古河市フィルムコミッション事業にも積極的に協力しました。

(2)ネーブルパーク管理運営事業

①通常営業について

各施設における利用状況は、次のとおりとなりました。

(ア)キャビン・バーベキュー広場

キャビン・バーベキュー広場を合わせた利用人数は、前年度に対し232人増の23,364人、利用料は388千円増の25,919千円となりました。

(イ)軽食販売

そば屋、パン屋など軽食販売につきましては、年末年始の営業や季節に応じたメニュー変更、屋外テントでの販売など、利便性の向上及び販売の促進に努め、前年度に対し99千円増の34,278千円の売上げとなりました。

(ウ)ポニー牧場

ポニー牧場につきましては、ポニー2頭が死亡するなどにより事業遂行に支障をきたす事態となり、ポニー牧場全体の利用料は、前年度に対し442千円減の4,877千円、また売上収入は、前年度に対し168千円減の1,214千円となりました。なお、ポニー乗馬クラブには2,125人、障がい者乗馬(ネーブルの会)には241人が参加しました。

(エ)平成館

研修棟、宿泊棟の利用者（宿泊者、研修者合計）につきましては、前年度に対し1,185人減の28,233人、利用料は前年度に対し922千円減の22,891千円となりました。また、レストラン売上収入は前年度に対し883千円減の19,604千円となりました。

(オ)その他の園内施設

工芸館は、営業日数の増加により、利用者は前年度に対し1,018人増の3,686人、利用料は298千円増の1,460千円となりました。料金変更を行った地下迷路をはじめ、釣堀、ミニS Lを合わせた利用料は前年度より116千円減の11,479千円となりました。

②自然とアミューズメント機能が調和した公園づくりについて

(ア)花と緑豊かな園内環境を維持するために、中央エントランスにブルースター200本、園内各所にパンジー6,000株、サルビア等6,200株の植栽を行いました。

(イ)湧池、せせらぎ等の清掃を公社職員により実施しました。また、さらなる公園環境の美化を図るために専門業者による清掃も行いました。

(ウ)公園をより身近なものに感じて頂くために、剪定した藤蔓の配布やキスゲの株分け体験を実施しました。

③定期的な園内巡回による安全安心な管理について

園内及び遊具の巡回点検を適宜実施し、不具合箇所の早期発見及び修繕を行うなど安全安心な公園管理に努めました。

④施設の計画的な修繕について

各施設の経年劣化した設備備品の修繕、更新を次の通り行いました。

(ア)キャビンの襖や畳の表替えを行いました。

(イ)工芸館電気炉の修繕を行いました。

(ウ)釣り堀の攪拌機や劣化した配線の修繕を行いました。

(エ)平成館の消防設備修繕を行いました。

(オ)焼きたて森のパン屋さんのエアコンを更新しました。

⑤キャビン・バーベキュー広場の衛生管理について

貸出備品の洗浄および定位置への保管を行うなど衛生管理を徹底し、安全安心に利用できるよう努めました。

また、利用者が快適に過ごせるようバーベキューテーブル・イスの再塗装などを行いました。

⑥イベント等への協力について

(ア)ネーブルパークで実施されたさくらまつりや菊まつり各実行委員会へ参加するなど、積極的に協力しました。

(イ)関東ドマンナカ祭り、はなももマラソン、周辺公立学校などへの駐車場協力を行いました。

⑦ポニー牧場における利用者の安全確保について

ポニーの調教を適切に行うとともに、職員の乗馬技術及び取扱技術の向上を図り、利用者の安全確保に努めました。

⑧利用者拡大について【平成館】

(ア)9月に「菊まつり期間限定宿泊パック」10月には「クリスマス・つどい宿泊パック」の案内をそれぞれダイレクトメールで発送しました。また、10月に菊まつり期間中のレストラン「木立」一般開放チラシを近隣福祉施設にダイレクトメールで発送し、利用促進に努めました。

(イ)期間限定宿泊パックにつきましては、菊まつりパック(10/27～11/23)、クリスマスパック(12/1～12/25)、つどいパック(1/8～2/28)を引き続き実施し、66件515人利用がありました。

(ウ)キャビン利用者に対し、平成館レストランが利用できることを周知するため、レストラン紹介チラシを作成し、配布しました。

⑨衛生管理について【平成館】

施設清掃専門業者による清掃に加えて、職員による日常的な清掃も行い、清潔な環境づくりに努めました。また、レジオネラ菌の繁殖防止につきましては、防止マニュアルに沿って、塩素による水質管理、ヘアキャッチャーの清掃などを適宜実施し事故防止に努めました。また、食中毒の発生防止につきましては、来館者への手指の消毒案内、調理者の手洗い等の徹底、衛生点検管理表を使用した定期確認などを行いました。

⑩館内照明のLEDへの更新について【平成館】

老朽化した浴室や講義室の照明器具をLED照明へ更新しました。

⑪レストランの一般営業について【平成館】

レストランにつきましては、菊まつり期間中の特別営業として一般開放を行いました。またテント販売も行い、651千円を売上げました。

(3)ふるさとの森管理運営事業

①通常営業について

各施設における利用状況は、次のとおりとなりました。

(ア)バーベキュー広場

バーベキュー広場の貸し出しにつきましては、利用件数は前年度に対し20件増の119件、利用料は35千円増の135千円となりました。

(イ)行為許可(芝生広場等)

バーベキュー・軽食販売・イベント開催等の行為許可につきましては、許可件数は前年度に対し56件増の66件、利用料は29千円増の43千円となりました。

(ウ)企画事業(教室)

ふるさとの森で初めての企画事業「犬の飼い方・しつけ教室」を開催し、犬32頭とその飼い主など約100人が参加しました。

②ふるさとの森リニューアルプランについて

市担当課である都市計画課とふるさとの森の今後についての協議を行い、現在の公園施設の修繕・整備を優

先して行っていく方向が確認されました。この整備の一環として各種看板や花壇の設置、第一駐車場の駐車ライン引き等を行いました。

③バーベキュー関連施設の整備について

バーベキュー炉の補修・塗装やベンチの移動を行い、利便性の向上に努めました。

④経年劣化した施設の計画的な修繕について

事務所デッキ腐食修繕、池棧橋床板腐食修繕、園内各ベンチの補修・塗装等を行いました。

⑤イベント等の協力について

ふるさとの森で実施されたイベントについて、円滑に開催できるよう積極的に協力しました。

(4)中央運動公園温水プール管理運営事業

①通常営業について

利用者につきましては、前年度より1,305人減の56,799人でありました。利用内訳として、プールが約9割を占め、その他(多目的室、会議室)が約1割となっています。利用料につきましては前年度より1,323千円減の13,007千円となりました。利用料のうち、教室参加料につきましては、前年度より149千円増の1,330千円でありました。また、コース占用料につきましては、水泳授業指導事業に伴う利用はほぼ前年度同額でありましたが、番組収録がなかった分、前年度より1,258千円減の600千円でした。利用促進企画としましては、幼児、小中学生の利用拡充を目的とした「夏休みキッズポイントカードキャンペーン」を前年に引き続き実施しました。

②「水泳教室」「スポーツ教室」について

前年度に引き続き各種教室を実施しました。内容は、定期水泳教室61教室延べ781回、多目的室を利用したヨガ教室、リズム体操教室9教室延べ86回、オープンチャレンジ教室5教室延べ216回で、計15,078人の利用者を得ることができました。

③施設の維持管理について

経年劣化を主な要因とする、故障や不具合の発生した設備・機器について、主に以下のような修繕を実施しました。

(ア)給湯循環ポンプの交換修繕を行いました。

(イ)自動ドアセンサーの交換修繕を行いました。

(ウ)ウォータースライダースタート口の窓ガラスの修繕を行いました。

(エ)受水槽配管の修繕を行いました。

(オ)プールピット内配管の修繕を行いました。

(カ)プールサイドの破損・亀裂の修繕を行いました。

(5)斎場管理運営事業

①通常業務について

利用件数につきましては、火葬利用が920件、式場利用は386件となり、前年度に対して火葬利用は1件増、

式場利用は13件増となりました。利用料収入は22,087千円で前年度に対して3,779千円の増となりました。賄い飲食物等の売上げは38,430千円となり、前年度より2,312千円の減、内訳は飲食物売上が131千円の増、生花売上が2,181千円の減となりました。

② 遺族に配慮したサービスの提供について

特に収骨の際の丁寧な説明を心がけるようスタッフに指導するとともに、各室の準備や片付け等、また冷暖房の適度な調整などに配慮しながら実施しました。

③ 施設の維持管理について

経年劣化などに伴う不具合修繕を、次のことについて実施しました。

(ア) 式場、通路、告別室の照明をLEDへ交換しました。

(イ) 西側道路沿いのキンモクセイの植え替えを行いました。

(ウ) 収骨室外扉の不具合調整を行いました。

(エ) 排煙窓の修繕を行いました。

(オ) 大規模な改修及び備品の更新について古河市へ要望（提案）をしました。

④ 食中毒、防災対策の徹底について

食中毒を予防するために保健所の開催する講習会に参加し、手洗いの励行、清掃の徹底、抗菌スプレーの使用などに努めました。また、防災対策については、日常点検を励行するとともに、防災訓練を実施しました。

(6) ファミリー・サポート・センター管理運営事業

① 施設サービスについて

利用会員の子どもを当施設内において預かりを行い、2,586人の利用がありました。また、利用料収入は前年を172千円上回る4,567千円となりました。

② 待機児童託児サービス事業について

保育所に入所できない3歳未満の子どもを預かりを行い、1,796人の利用がありました。また、利用料収入は前年を846千円上回る1,403千円となりました。

③ 相互支援サービスについて

協力会員による利用会員の子どもを預かりを行い、10人の利用がありました。また、利用料収入は前年と同じ39千円となりました。

④ 会員同士の交流会について

交流会（イベント「縁日」）を開催し、利用会員と協力会員の交流をはかりました。

⑤ 施設の維持管理について

(ア) 玄関の改修を実施しました。

(イ) 大人用和式トイレを幼児用洋式トイレに改修しました。

(ウ) プレイルームの床を補修しました。

(エ) 入り口ドアにハンドルを取り付けました。

(オ) 窓ガラスに危険防止フィルムを張りました。

(7) ネーブル子育て広場管理運営事業

① 通常営業について

親子の交流や語り合いの場、乳幼児の遊び場、子育てに関する情報等を提供しました。利用状況については、前年度を398組上回る9,619組の利用がありました。利用料については、無料（市内・圏内）利用者が多かったため前年を9千円下回る76千円となりました。

② 快適な遊び場と親子の交流の場の提供について

ミニイベントとして月2回の交流会・月3回のおはなし会を実施、特別イベントとしてクリスマスイベントを開催、情報交換ボードの設置により利用者同士の交流の促進に努めました。また、イベントや日々の広場の様子をSNS（LINE@）で発信し利用促進に努めました。

③ 子育ての情報提供及び相談について

子育て相談に対するアドバイスを行い支援に関する情報提供を行いました。

④ 適切な施設の運営について

実施したアンケートからの意見を反映し、床の危険個所にジョイントマットを敷くなど安心安全で利用しやすい環境づくりに努めました。

⑤ 施設の維持管理について

(ア) 受付のエアコン交換を行いました。

(イ) デッキの床を修繕いたしました。

(ウ) エアコンの効果を最大限に発揮するため、ロフトにビニールシートを取り付けました。

(エ) 施設玄関の自動ドアのタッチスイッチを設置しました。

(オ) キッチンの非常用照明器具の交換を行いました。

3. 受託事業

(1) 駅前子育て広場受託事業

① 子育て広場事業について

就学前の子どもとその保護者を対象に、交流・語り合いの場を提供しました。また、毎月の定期清掃の他、年に4回ボールプール清掃を行うなど、定期的な衛生管理に努めました。

駅前子育て広場利用者数 13,410組

② 地域子育て支援センター事業について

地域子育て支援事業は、月～金の週5回、3歳未満の子どもとその保護者を対象に、保護者同士、子ども同士、保育士と保護者とのコミュニケーションを深める活動を行いました。

駅前地域子育てセンター利用者数 1,527組

③ 広報、周知活動について

子育て広場事業の活動を広く知ってもらうため、ホームページ・チラシなどのほか、SNS（LINE@）

を活用したPRを11月に開設、年度末までに500人を超える登録がありました。

④大規模改修、及び備品更新について

大規模な改修、及び備品の更新について古河市へ要望（提案）を行い、古河市による、すべり台撤去・支援室の手洗い設置工事などが1月8日～1月22日まで休館し行われました。また、開館後の1月27日に、リニューアルイベントとして、スタンプラリー・お昼寝アートなどを来館者に向けて実施しました。

⑤施設の維持管理について

(ア)電気温水器の取り付けを行いました。

(イ)滑り台撤去後の遊戯エリアに安全対策柵を取り付けました。

(2)中央運動公園受託事業

利用者窓口業務及び施設の維持管理に努めました。

窓口処理件数 21,110件

(3)古河体育館受託事業

利用者窓口業務及び施設の維持管理に努めました。

窓口処理件数 2,556件

(4)水泳授業指導事業

中央運動公園温水プールにおける水泳授業指導を実施しました。

(ア)下大野小学校 延べ51回 1,582人

(イ)総和北中学校 延べ20回 594人

(ウ)水海小学校 延べ30回 903人

(5)菊花育成受託事業

各種菊の育成、菊まつり時の水やりや清掃などを行いました。

(6)自動交付機確認業務

利用者からの交付機利用方法などに関する問い合わせへの対応、自動交付機に障害（トラブル等）が生じた場合の速やかな市民総合窓口室へ連絡及び市職員が現地に赴くまでの市民への対応を行いました。

(7)観光自転車貸出業務

古河市を訪れる観光客の市内観光の利便性を高めるため、観光自転車の貸出しを行いました

貸出自転車利用者数 1,518人